

レモン彗星

10月21日は、レモン彗星が地球に最接近する日です。黄緑色の光を放ちながら地球に近づいてきました。ところが同日はあいにくの雨。夜空を見上げても、雲に阻まれ確認することができませんでした。名前の由来はアメリカのレモン山天文台で発見された彗星であり、柑橘類とは関係ありません。ただし、夜空の中で黄緑がかった尾をのばす姿はちょっと爽やかで、レモン色のように感じるかもしれませんね。夕方の低い空に11月上旬までみる事ができるそうです。

18日、清瀬市ビブリオフォーラムに本校からは、1年生と2年生が1名ずつ、校内ビブリオバトルで勝利をつかみ取り出場しました。

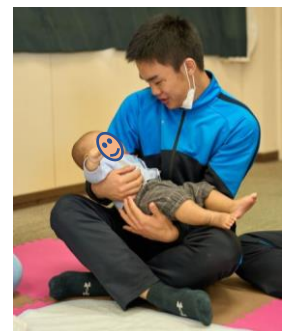
1年生は、永田美絵著“星座と神話大じてん”の紹介です。レモン彗星の接近もありタイムリーな書籍です。「夜空に輝く星たちに物語がある」と説明。興味を引くフレーズです。星を繋いで作られた星座と、それに関連するギリシャ神話の世界を解説する事典です。小学校の頃、授業で星について学び、興味をもったことから手にした本だそうです。

2年生は、結城真一郎著“#真相をお話します”の紹介です。推理小説と言えば“名探偵コナン”に代表されるように、彗星のごとく現れた探偵が推理を繰り広げ、問題を解決していくことが多いのですが、「名探偵が登場しません。」推理小説あるあるを覆すご紹介。「真相は一つだけではないのです。」思わず、携帯にて本の紹介サイトを検索していました。また「何気ない文章に隠されている伏線にも楽しませてもらえる」というのです。伏線!!小欄の記す“校長室より”にも「親和 しているような部分があるのだけれど」と思ってしまうのは驕りでしょうか。正座 して反省します。



23日1年生の体育は校庭です。ソフトボールです。グローブの使い方、補球の時の手の添え方、まずはひじから先だけを使ってボールをどのようにリリースするか。投げ方を学びます。緩いゴロを取る、小フライを取る。スモールステップで授業が進んでいきました。時代が違うのですね。小欄の世代にはボールを投げる事ができない生徒は皆無でした。中学校のソフトボールの授業はキャッチボール、トスバッティングからスタートしたと記憶しています。子供のころの遊びが多様化し、ドッジボール、中当て、手打ち野球・・・あの時から彗星のごとく時が流れたのですね。時代は、ボールを投げる種目を淘汰していったのでしょう。

17日にはキラキラ輝く命!“赤ちゃんのカプロジェクト”3年生が赤ちゃんとおふれあい、命の尊さを感じます。始めはおっかなビックリ。少しずつ慣れてくると、3年生の笑顔が増えていきました。ここに私たちが笑顔でいられるのは、たくさんの偶然が重なり産み出した奇跡なんだと。みんなこうやって抱きしめられて育てられてきたのです。



昨日、後輩から突然の電話。「子供が産まれました!!!」長きにわたり子宝に恵まれず、遂に娘さんを授かったのです。苦労の末授かった命であることを知っているが故、小欄はまるで自分に孫が誕生したかのような想いで目頭が熱くなりました。皆さんの赤ちゃんを抱く姿と後輩からの朗報が、我が子を抱いていた約20年前を回想させました。彗星のように輝くたくさんの笑顔をもたらした。

レモンのようにさわやかな思い出です。